

プログラム及び抄録

開会の辞

第一部 (14:00~15:30)

1. “なぜ小室歯科にはホワイトニングは定着しないのか”

○*大垣 博之 **川端 克 ***三島 賢郎
(*MIO 診療所 **難波診療所 ***天王寺ステーション診療所)

ホワイトニングが定着しない理由に関しては様々な理由が考えられる。ホワイトニングは基本的に Dr.サイドから薦めることが難しく、患者サイドからの主訴によって行われることが多い。ホワイトニングは多種多様な手段のひとつに過ぎない。基本的な診査、診断に基づいて充分説明し理解を得て処置の選択を行い介入度の低い選択肢から選ばれるべきであり、主訴の改善をするためにすべての選択肢の情報は患者に提供されるべきである。ブリーチング自体にも問題はある。値段にも問題がある。宣伝の方法にも問題がある。

ホワイトニングには社会的関心が高まってきており、またホワイトニングを自院の診療メニューに取り入れる医院も増えてきた。今回は、臨床例を提示するとともにどうすれば小室歯科にホワイトニングが定着するか、考えていこうと思う。

2. “喘息等の全身的リスクをもつ患者に対する鎮痛剤の使用と アナフィラキシーショックの対応について”

○松井 徳彦 (難波診療所)

過去の医療事故において、歯科医師が損害賠償責任を負わされた判例を具体的に取り上げ、その判例における歯科医師の過失及びどのような対応をすべきであったかについて簡単に解説します。

(休 憩)

第二部 (15:40~17:00)

3. “象牙質へのボンディングシステム（伊藤の方法）について ”

○木村 祐士 (関空診療所)

昨今の審美歯科の発展はレジン接着システムの進歩と切り離して考えることはできません。今回は幾つかのボンディングシステムの中で伊藤（昭和）の方法について簡単に解説したいと思います。

4. “小室歯科におけるインプラントの変遷と現況について ”

○阪木 秀之 (天王寺ステーション診療所)

この15年間の小室歯科におけるインプラント治療の変遷（適応、手術法、補綴などについて）と現況について述べます。

5. “なぜCSIアンケート、問3の不満足が多いのか”

CSI患者満足度調査における問3（治療期間はどうでしたか？）の答えに不満足が多いことについて全体で議論していきたいと思ひます。

6. 総括
閉会の辞